



平成 30 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 P C I ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 原口 直道
(コード番号：3918 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役経営企画本部長 井口 直裕
(TEL. 03-6858-0530)

(訂正) 「平成 30 年 9 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月 6 日に公表いたしました「平成 30 年 9 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載につきまして、一部訂正がございましたので以下のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

1. 訂正の理由

当社は平成 30 年 2 月 6 日に「平成 30 年 9 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」を公表しましたが、その後、平成 30 年 9 月期第 1 四半期連結会計期間において新たに株式会社りーふねつとを完全子会社化したことを契機に、当社グループの事業展開、事業の経済的特性、経営資源の配分の決定及び事業評価の方法等を総合的に勘案し、報告セグメントの区分変更につき検討してまいりました。当社と監査法人にて議論の結果、平成 30 年 9 月期第 1 四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ITソリューション事業」のうち I o T / I o E ソリューション分野を新たな報告セグメント区分として切り出し、「ITソリューション事業」、「I o T / I o E ソリューション事業」、「半導体トータルソリューション事業」の 3 区分に変更し、訂正することに至りました。

2. 訂正の内容

添付資料 2 頁

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【訂正前】

(省略)

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業につきましては、売上高は 2,774 百万円 (前年同期比 24.5% 増) となり、セグメント利益は 57 百万円 (前年同期比 67.7% 減) となりました。

以下では、ITソリューション事業における概況と売上高を主要区分別に示します。

① エンベデッドソリューション

エンベデッドソリューションの展開につきましては、高度な技術を要するエンベデッド技術者育成に努めると共に、車載情報系案件からより参入障壁の高い車載制御系案件の受注拡大を企図してまいりました。また、当社グループの開発実績と自動車業界における先進技術

を用いた安全運転支援システムを搭載したスマートカー開発関連案件が引き続き好調に推移し、既存顧客からの安定した引き合いが継続したほか、車載系ECU（※3）開発においてモデルベース開発案件やAUTOSAR（※4）開発案件が拡大し、継続営業と自動車分野の好調が背景となり、自動車向けチップセット開発案件が引き続き堅調に推移いたしました。

以上の結果、エンベデッドソリューションの売上高は1,160百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

② ビジネスソリューション

ビジネスソリューションの展開につきましては、既存取引先との深耕拡大及び新規顧客の開拓に努めるとともに、多岐にわたる顧客需要に応えるべくビジネスパートナーとの更なるアライアンス強化並びに収益構造の改善に向けた各種施策に取り組んでまいりました。企業向けソフトウェア開発においては、金融機関向け案件及びSalesforce関連案件が好調に推移したほか、前連結会計年度に子会社化した株式会社シー・エル・シーが展開するメインフレーム分野においても、金融系顧客のIT基盤の統合・再構築に向けた投資増加需要を取り込み、売上に貢献いたしました。

以上の結果、ビジネスソリューションの売上高は1,519百万円（前年同期比43.5%増）となりました。

③ IoT/IoEソリューション

IoT/IoEソリューションの展開につきましては、モバイル分野におけるスマートフォンやタブレット端末と、各種デバイスや地域スポットに設置された各種センサーとの情報連携機能の開発案件受注に注力したほか、建設機械業界における「インダストリアルIoT」への取り組みを背景に、当社グループの得意とする通信制御技術をコア技術とした重機・建機分野案件が堅調に推移いたしました。しかしながら、売上高は、平成29年10月2日付で当事業セグメントのうち自動車販売店向けソリューションを展開していたInspiration株式会社の全株式を売却したこと等により前年同期には至らず、減少となりました。

以上の結果、IoT/IoEソリューションの売上高は86百万円（前年同期比55.1%減）となりました。

【訂正後】

（省略）

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（ITソリューション事業）

ITソリューション事業につきましては、売上高は2,687百万円（前年同期比32.0%増）となり、セグメント利益は68百万円（前年同期比53.7%減）となりました。

以下では、ITソリューション事業における概況と売上高を主要区分別に示します。

① エンベデッドソリューション

エンベデッドソリューションの展開につきましては、高度な技術を要するエンベデッド技術者育成に努めると共に、車載情報系案件からより参入障壁の高い車載制御系案件の受注拡

大を企図してまいりました。また、当社グループの開発実績と自動車業界における先進技術を用いた安全運転支援システムを搭載したスマートカー開発関連案件が引き続き好調に推移し、既存顧客からの安定した引き合いが継続したほか、車載系ECU（※3）開発においてモデルベース開発案件やAUTOSAR（※4）開発案件が拡大し、継続営業と自動車分野の好調が背景となり、自動車向けチップセット開発案件が引き続き堅調に推移いたしました。

以上の結果、エンベデッドソリューションの売上高は1,160百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

② ビジネスソリューション

ビジネスソリューションの展開につきましては、既存取引先との深耕拡大及び新規顧客の開拓に努めるとともに、多岐にわたる顧客需要に応えるべくビジネスパートナーとの更なるアライアンス強化並びに収益構造の改善に向けた各種施策に取り組んでまいりました。企業向けソフトウェア開発においては、金融機関向け案件及びSalesforce関連案件が好調に推移したほか、前連結会計年度に子会社化した株式会社シー・エル・シーが展開するメインフレーム分野においても、金融系顧客のIT基盤の統合・再構築に向けた投資増加需要を取り込み、売上に貢献いたしました。

以上の結果、ビジネスソリューションの売上高は1,519百万円（前年同期比43.5%増）となりました。

(IoT/IoEソリューション事業)

IoT/IoEソリューション事業につきましては、売上高は86百万円（前年同期比55.1%減）となり、株式会社りーふねっと子会社化に伴う各種M&A費用の影響等によりセグメント利益は△10百万円（対前年同期比41百万円減）となりました。

当事業の展開につきましては、モバイル分野におけるスマートフォンやタブレット端末と、各種デバイスや地域スポットに設置された各種センサーとの情報連携機能の開発案件受注に注力したほか、建設機械業界における「インダストリアルIoT」への取り組みを背景に、当社グループの得意とする通信制御技術をコア技術とした重機・建機分野案件が堅調に推移いたしました。しかしながら、売上高は、平成29年10月2日付で当事業セグメントのうち自動車販売店向けソリューションを展開していたInspiration株式会社の全株式を売却したこと等により前年同期には至らず、減少となりました。

以 上